



Vol. 243



屋島飛脚

屋島表遍路道を登る

50周年記念事業の「庵治石ベンチ」が見たくなり、家内と二人で屋島表遍路道を登りました。若い頃には何度も登った遍路道ですが何十年振りかで歩きました。

屋島小学校前を車で通り過ぎ、遍路道を探している内に住宅地の中の迷路に入り行き止まりになり、何度も車の方向転換をする羽目になりました。

遍路道の入口付近には、遍路道を示す案内板があれば解りやすいと思いましたが。

車の置き場所が心配でしたが、遍路道の左右には何台も駐車できる場所があり、私が駐車した場所より、かなり上にもまだ駐車できる場所がありました。

平日でしたが登る人は予想外に多く居て、私たちと会うと必ず「今日は・ご苦労さま」と挨拶をされたので気持ち良く歩けました、慣れてくると私たちも自然に声が出て、すれ違う方と挨拶を交わすようになりました。

登山道の最初は「加持水」弘法大師ゆかりの湧き水と言われ、水飢饉の時でも水が枯れずに流れていたとか、次に「不喰梨」喰わずの梨と言われる場所で、昔弘法大師がここを通りかかった時、美味しそうな梨なので村人に食べてもよいかと尋ねると「この梨は食べられない」と村人が言ったそうで、以来その梨の実は本当に食べられなくなつたのだそうです。

「喰わずの梨」には当クラブ寄贈の石のベンチが4個あり、他の場所にも設置されていましたが、当クラブの寄贈かどうか解らない石のベンチもあった。

次いで「壘石」屋島が火山であったころ、火山の溶岩が流れてきた時に出来た地層で、溶岩が何層にも重なりながら冷えて出来たのだそうです。

遍路道の終点近くには「登山者番付表」のポールがあり、屋島に登る会員が年間何回登ったかを記録していて、多い方は横綱や大関に登録されます、1万回も登った人もいて、千回以上の方は大横綱と言われているそうです。

四季を通じて気持ちよく歩けるそうで、樹木が程よく日光を遮るので夏でも涼しいそうです。足に自信が無かった家内も気持ちよく登れたので、次回は小学生や幼稚園に通う孫達と一緒に登ろうと言っています。

皆さんも、寄贈した石のベンチを見ながら屋島登山道を歩いては如何ですか。

神戸須磨LC合併5周年記念例会及び源平ゆかりの会の報告

姉妹提携委員長 岩崎 康 誠

平成27年8月22日に神戸須磨LC合併5周年記念例会と源平ゆかりの会が、開催されました。

12時より源平ゆかりの会が、須磨観光ハウス「花月」で行われました。この須磨観光ハウスは1939年神戸市の迎賓館でもあった由緒ある建物で「建築百選」にも選ばれ、スイスの山荘をモデルに建てられ多くの財界人、文化人が通った隠れ屋的な館で、大阪湾が一望できます。

神戸須磨LC・下関西LCさんとは、我がクラブ50周年後5か月ぶりの再会でしたが、前夜祭2次会3次会が昨日のように思えるほど「やーやー、どうもどうも、来たで。」と、再会を喜び合いました。

3クラブの会長挨拶後、美味しい和食を食し、アトラクションとして川村旭芳さんの越前琵琶「源平一ノ谷合戦」の演奏がありました。L池田正が「目を瞑ると光景が浮かび、涙してくる」と言うほど素晴らしい歌と演奏でした。その後、「源平ゆかりの会30周年記念碑」の前で集合写真を撮り、ホテルオークラ神戸で開催される記念例会の会場へ移動しました。



16時より1部 「クラブ合併の是非」の議題でパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは元地区ガバナーが務め、パネリストは元国際理事・第1副地区ガバナー・1R2Z・ZCの3名が務めました。「クラブ合併の是非」という議題にビックリしましたが、日本ではこの7年間で合併が60件あり、400クラブが消滅したとのこと。合併には対等合併と吸収合併がありますが、対等合併の成功例として神戸須磨LCが取り上げられました。合併には多くの難関がありましたが、CMメンバーの後押しが一番の力付けだったようです。

17時より2部の記念例会（式典同様）があり、18時より祝宴がありました。例会では、高松屋島LCと下関西LCの会長紹介のみで挨拶は無いと言われていたが、突然の檀上挨拶には下関西LC植田会長と顔を見合わせました。

私は、「今日の会で新しい出会いと、友情が芽生えることが楽しみです。そして、2次会3次会でその友情が育まれることを期待してます。」と挨拶しました。

閉会后、下関西LCと我々メンバーは、三宮駅近くのお店で2次会を和気藹々と過ごしました。L赤瀬は、いつも通り豪放な喋りでまたまた訪問コンペ？らしきお約束をしたようです。（11月25日洲本カントリー）。

3次会は、神戸須磨LC会員の高級ラウンジへL赤瀬L藤原と岩崎が参加しました。L赤瀬は、相変わらずハイボール。L藤原は、2次会で口説き過ぎたのか3次会では撃沈してました。

ダラダラとした報告ですが、大変楽しい姉妹クラブとの交流会でした。

翌日は、元会長ら6名で有馬温泉に行き、帰りに三田市の三田屋本店でステーキを食べました。この日も色々ハプニングがありましたが、とっても楽しく友情を深めあった2日間でした。



地区ガバナー公式訪問の報告

高松屋島LC会長 岩崎 康 誠

8月30日(日)高松国際ホテルにて、4R(22クラブ)の地区ガバナー公式訪問が開催されました。4R・多田RCは、高松屋島LCですので我がクラブがホストクラブとなりました。地区キャビネットからは、地区ガバナー・第1第2副地区ガバナー幹事会計・各委員10名の参加。各ZC・地区委員で総勢21名の来賓でした。各クラブからは、会長・第1副会長・幹事・会計・会員委員長5名。4ゾーン22クラブの参加でした。

地区ガバナーご挨拶他、キャビネット各委員からの要望事項があり、大まかに申し上げますと

1. 会員増強とドロップアウトの防止 (クラブ存続の危機感を持って 脅しのような意気込み)
 - ① 今年は各クラブ3名以上の純増(うち1名は女性)
 - ② 会員増とドロップアウトの防止の為、各クラブは「退会防止及び会員増強特別委員会」の設置
2. キャビネットは、事業資金獲得700万円を目標とする。
昨年4RのLCIF基金は、60万円で非常に少なく、参加していないクラブが6クラブあった。集金でなく、何か新しい事業をして獲得したらどうか。
3. ライオンズクラブ百周年記念奉仕チャレンジに参加と報告
現在の事業を4分野に分けて報告 ① 青少年の奉仕を促そう。 ② 視力を分かち合おう。
③ 食料を支援しよう。 ④ 環境を保護しよう。

以上の項目であったかと思います。

続いて、各クラブお会長の本年目標と抱負スピーチでした。

私は、「LCIF資金獲得事業として、真田大勢君ヴァイオリンリサイタルを行い50ドル献金を行います。詳しくはライオン誌に掲載されます。また青少年育成に力を入れます。」また、「11月1日には、高松紫雲LC45周年にご出席された後、我がクラブのお茶会に是非来て頂くようお願いします。」とお願いしました。

甚だ簡単ではありますが、ご報告いたします。



高松屋島ライオンズクラブ

メンバーインタビュー



L 赤瀬直温



今日は、第2副会長 赤瀬直温さんの職場訪問です。

松福町の3階建てビルに「香川県建設業組合」の看板がかけられていて、土建屋さんの集まった組合かと想像していたが、業務内容をお聞きすると「労働保険の事務組合で具体的には次の通りです。」と教えてもらった。

従業員100名以下の建設業者の労働保険と雇用保険の申請・加入の手続きと代行。

建設現場における許可票、看板等の制作販売。

損保代理店業務：建設業にかかわるもの、自賠責保険、簡易保険等。

行政書士業務：建設業にかかわる許可、法人設立や産廃に関する許可・申請・請求手続きの代行。

社会保険労務士業務：労働者の種々保健、給付金、手当等への届出・申請・請求の代理・代行と労務管理におけるあらゆる相談、指導と書類の作成。

以上のように業務は実に多岐にわたっている。

○会社の歴史をお聞かせ下さい。

奥様のお父様が、昭和42年2月14日、労働保険事務組合「香川県建設業組合」を起業し、昭和52年7月5日に榊香健を設立。平成8年に松福町の現在地に移設。

平成16年香川県初となる行政書士法人“香川県総合行政事務センター”「001号」を併設。

さらに、平成17年香川県総合社労事務センターを併設した。

来年2月には事業開始から、50周年を迎えることとなる。

○赤瀬さんのホームページは、<http://www.Jimhaomakase.com/> でよく見ると、赤瀬さんのおしゃれ感覚で“事務はおまかせ”の文字の中にセンターラインのごとく赤瀬が組み込まれている。

○現在社員は11名で、そのうち4名の男性は営業を、7名の女性は事務を担当し、奥さんが経理を取り仕切っている。

かわいい・かわいい
小太郎クンです！



○赤瀬さん、奥さんとのなれそめについてお聞かせ下さい。

「は！ は！ は！ 女房とは知人の紹介で市内某店知り合ったのよ！

当時女房は僕以上にお酒が強かった。

結果としては、僕がひっかけられて、塗材メーカーの営業マンを辞めて榎香健に入ったんよ。」

奥様のお目は高い。家業を継ぐのに最適の男を見つけたと言える。

○赤瀬さんが事業を引き継いだ時の取引業者は120社であったが、その類まれな手腕によって、現在では1700社以上までに成長させた。

赤瀬さん、奥さん、ご息子さん、事業をさらに拡大・発展されることを願っています。

今回の職場訪問で、赤瀬さんの仕事内容の膨大・多岐にわたることを知り、本当に大変なお仕事をされていることを実感しました。

ご協力ありがとうございました。



第二副会長 赤瀬直温 と
PR委員長 河野研一 の
ツーショット



第1224回例会 (高松紫雲LCとの合同例会)

2015年9月24日(木) 18:30～
JRホテルクレメント高松

高松紫雲ライオンズクラブとの合同例会が、紫雲LCのホストで開催されました。テーブルツイスター登場では、クイズが出され、不正解者にはピエロの変装マスク着用がありました。岩崎康誠会長・桑崎博之も変装！とてもお似合いです。なぜかL安西芳朗のブタちゃんのお鼻マスクがお気に入りでしたので、記念撮影しました。



第1225回例会 兼 観月会

2015年10月1日(金) 18:30~
喜代美山荘 花樹海



恒例の観月会が開催されました。

当日は心配された雨も上がり、なんとかお月様も見られました。

例会には、最高齢(97歳)のL山下博儀も参加され、お元気なスピーチを頂きました。

アトラクションには、香川さんのご息様とL真鍋のウクレレとオカリナの演奏があり、楽しい観月会でした。ちなみに、演奏曲は、上を向いて歩こう・見上げてごらん夜の星を等・アンコール曲は、銭形平次とてもうけました!!

また、お月様を見ながら?おいしいお抹茶とお菓子も堪能できました。

L山下博儀
いつまでもお元気で居てください!



香川さん・L真鍋へ花束贈呈
バンド名は「オカレレ」だそうです。
楽しい演奏ありがとうございました。



古天神大祭片原町チャリティバザー

2015年9月20日(日) 10:00～



Ｌ阿河実三
満面の笑顔で
いらっしあ～い！

今年のチャリティバザーは持ち寄りの品物が少なく、売るものがなくなって12時前に終了してしまいました。人通りは多かったのに残念でした。今年もやっぱり新鮮野菜が好評でした。

第1226回例会

(高松栗林LCとの合同例会)

2015年10月20日(火) 18:30～
ロイヤルパークホテル高松



高松栗林LC
会長 内野謙藏
高松屋島LC
会長 岩崎康誠
二人で開会ゴング
「カーン」



ガバナー 橋本充好・RC 多田昌弘
4 ZC 渡辺正司



会長・幹事の密談

高松屋島LCに新入会員3名が入会しました。そのお祝いと・入会式に、わざわざ地区ガバナー橋本充好が参加してくれました。ありがとうございました。



RC 多田昌弘の乾杯

新入会員紹介



L 穴吹美香

穴吹美香 (あなぶき みか)

1972年2月19日(43歳)
 (株)穴吹コーポレーション (専務)
 スポンサー L岡野朱里子

溝渕博紀 (みぞぶち ひろき)

1987年5月9日(28歳)
 (株)Expand (ひかり接骨院)
 スポンサー L岩崎康誠

大澤佳加 (おおさわ よしか)

1970年2月6日(45歳)
 サンテックアイ(株) 企画部室長
 スポンサー L岡野朱里子



L 溝渕博紀



L 大澤佳加

編 集 後 記

少し遅れましたが、PR誌の第2号ができあがりお届けします。

先日は、県木園行事の話のとき、遍路道を歩いて登る人はいないかと言われ、勢いよく手を挙げてしまった。

三好さん、大熊さんから「無理！無理！死ぬほど辛いで！やめとき！」と言われ、少し後悔していたところ、浅田さんの屋島遍路道を登ったという原稿を読んで、これなら僕にもできるかもと勇気づけられた。

運動はまず足元からと、ウォーキングシューズを買い求め、秋晴れの10月16日昼から一人で屋島へ向かった。

最初のLIONSクラブ寄贈のベンチ石のあるところまでがきつかった。あとは、マイペースでゆっくり、ゆっくりと登り途中でベンチ石が現れても、ここで休めば登る気力がなくなるのではないかと、座る気になれず、無心に休まず登った。あと200mの看板のところまで来て、これなら登れると確信し、山門下の石段のところまで丁度30分が経過していた。

PR委員長 河野研一

高松屋島ライオンズクラブ

〒760-0041 高松市百間町9-15 TEL: 087-851-8451 FAX: 087-826-3585

2015年7月～2016年6月

■発行日: 2015年11月19日

■会長: 岩崎康誠 ■幹事: 高島 望 ■会計: 三好勝博 ■編集: PR大会参加ライオンズ情報委員会